

PROGRAM NOTE

2015年6月

戦前からの短波リスナー：坪井達夫さんの歩んだ道 JSWC会員番号107 大武逞伯



坪井さんは去年97歳で亡くなりましたが、戦前からの短波リスナーで、多くの会員から尊敬される存在でした。今回は2009年に横浜のお住まいにお邪魔してお話を伺った時のものです。

坪井さんが短波を聞き始めたのは、大学2年の頃です。同級生の仲間数人に刺激されラジオを自分で作りました。当時はベニア板に真空管のソケットをつけ、これに配線したものでした。同調コイルは、バークライト・ボビンに針金を巻いたもので、バンドに合わせて数本作り、受信バンドを変更する時はこれを差し替えて聞いていました。戦前の放送で印象に残っているのは、言葉は理解出来ないもののヒットラーの巧みな演説と米国サンフランシスコの万国博覧会の紹介、「Treasure Island in San Francisco」の声です。当時、短波放送の受信は禁止されていましたが、学生の下宿へ踏み込んでくることもあるまい、と仲間と受信情報の交換などをしていました。

昭和16年3月に大学を卒業、同年9月に海軍に入り、技術将校となりました。当初は佐世保の無線検査部門に配属されました。同年12月8日に日本は第二次大戦に参戦したのですが、昭和18年に海外派遣され、シンガポール経由でスマトラ島へ行きました。同島の小島で陸上レーダー、中波の方位測定器の調整を行ったのです。翌19年には東京・目黒の海軍研究所へ転勤、電波研究部門でレーダーの研究を行いました。更に昭和20年には沼津の海軍の音響研究部門に異動、そこで終戦を迎みました。

戦後は短波受信も解放されトリオが短波受信機を売り出したりしました。早速、受信を再開、「無線と実験」誌に受信報告を投稿したりして、日本短波クラブへ入会を誘われた、と記憶しています。仕事は、神戸工業の部品製造で、送信管、ブラウン管、そして受信管まで手がけ、ついで半導体、ICへと進みました。会社がRCAと提携したので、米国へ技術導入で出張しました。休日は暇なので、地元の放送局を訪問したら、即インタビューとなり、これが放送された翌日には職場で皆から聞いたぞ、と言われ、その後家に招待されるなど、楽しいキッカケとなりました。又、ロスへ出張したときは、クラブの米国会員たちと会い、色々な所へドライブに誘われたりしました。

米東海岸への出張ついでにワシントンへ行き、VOA日本語部を訪問しました。この時のインタビューは、確かクラブへ電報で連絡があり、放送日には私を始め多くの会員が胸をわくわくして聞いたものです。アナウンサーは、NHK派遣の鈴木アナだったと思います。

その後輸出用カラーラジオの開発に携わり、現地での試験のため、ロスへ行き、バンドの混み合う米国での試験を行いました。更に欧洲ではイスラエルからドイツのデュッセルドルフ、ゾーリンゲンまで車で移動しながら試験をした思い出があります。自分の人生を振り返ると、本当に無線、ラジオに関係した時代だったと感じます。大武が大学生時代、クラブ創立者の和田謙郎さんと一緒に、神戸の坪井さん宅を訪問しました。一泊させて頂いた後の朝食時、奥様が、「夜中にアフリカの珍局が聞こえるから聞け、と言われラジオの前に連れて行かれましたが、雑音にしか聞こえなかった。」と迷惑そうに、しかし嬉しそうに仰っていたのが印象的で、ご主人の趣味へのご理解があり、自分もこういう家庭が持てたら良いな、と感じたものです。

二回目の放送では、「はつらつ老後の生活」が放送されます。80代になって入られたケア・マンションでも、積極的に行事をリードされるなどのご活躍をされた坪井さんの生き方が分かります。人生の大先輩として大変参考になります。昨年5月に亡くなられて一年になりますが、慎んでご冥福をお祈りする次第です。

サタデー・トーク

きき手尾崎一夫 每週土曜日放送	
6月06日	石川 俊彦（1）BCL・ハム歴80年
6月13日	石川 俊彦（2）BCL・ハム歴80年
6月20日	坪井 達夫（1）戦前からの短波リスナー
6月27日	坪井 達夫（2）戦前からの短波リスナー

バイブル・トーク

淀橋教会 峰野龍弘主管牧師 每週日曜日放送	
6月07日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（88）
6月14日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（89）
6月21日	リスナーからの『お便り交換の時間』
6月28日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（90）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 17760kHz (再放送) 午後8時00分～8時30分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）